科目名	社会学概論Ⅱ　　Introduction to Sociology Ⅱ						
科目担当者	田中 保通　　TANAKA Yasumichi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 経営学部・経営学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	社会学は、大変幅広い学問です。社会学概論Ⅱでは、社会学概論Ⅰでは取り上げられなかった概念・理論や分析手法について学んでいきます。社会学概論ⅠとⅡを学ぶことによって、社会でおきる様々な現象や社会的課題を深く理解することが可能になります。 また、公務員試験の過去問等も活用しながら、実戦的な学習も行います。						
授業の到達目標	①　社会学の概念や理論について、幅広く理解する。 ②　社会でおきる様々な現象について、社会学的見地から考察できる能力を身に付ける。 ③　社会調査で得られたデータの分析手法を身に付ける。						

授業計画・内容		
	1	社会学の諸学説（古典 1）　創始期の学者たち
	2	社会学の諸学説（古典 2）　キツネ型エリートとライオン型エリート　など
	3	社会学の諸学説（現代 1）　機能主義　　社会は AGIL でできている？
	4	社会学の諸学説（現代 2）　意味学派　言葉やジェスチャーで自分を示し、他者を解釈する
	5	社会学の諸学説（現代 3）　自由からの逃走　など
	6	現代社会 1　大衆社会　パワー・エリートによる支配　など
	7	現代社会 2　社会運動　迷惑施設をどうする？
	8	現代社会 3　産業社会　見せびらかしの消費　など
	9	文化 1　ユダヤ人はマージナル・マン？
	10	文化 2　日本人論　タテ社会、甘えの構造　など
	11	パーソナリティ　超自我って？
	12	社会的性格　孤独な群衆　など
	13	マス・コミュニケーション　オピニオン・リーダー　など
	14	社会調査・統計分析 1　帰無仮説って？
	15	社会調査・統計分析 2　ピアソンの積率相関係数　など

授業外学修 (事前学修)	毎回、授業範囲を予習し、専門用語の意味等をあらかじめ調べておく。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について整理し、不明な箇所は確認し理解しておく。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 小テスト	100% 加点事由	①、②、③ ①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	適宜、資料を配付する。
参考文献	適宜、提示する。
その他	社会学概論Ⅰの履修が必要です。